

健全時および損傷後の船体縦曲げ最終強度に関する研究

藤, 公博

<https://doi.org/10.15017/1500714>

出版情報：九州大学, 2014, 博士（工学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：全文ファイル公表済

氏 名	藤 公博			
論 文 名	健全時および損傷後の船体縦曲げ最終強度に関する研究			
論文調査委員	主 査	九州大学	教授	吉川 孝男
	副 査	九州大学	教授	篠田 岳思
	副 査	九州大学	准教授	安澤 幸隆
	副 査	九州大学	准教授	後藤 浩二

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は、船体横断面の縦曲げ逐次崩壊挙動の代表的な計算法である **Smith** の方法を改良して座礁・衝突などによって損傷した船体の縦曲げ最終強度計算手法を構築するとともに、本計算手法を用いた解析，ならびに動的陽解法による弾塑性 **FE** 解析などを行い，損傷による縦曲げ最終強度の低下割合や，初期不整や横荷重が最終強度に及ぼす影響などを明らかにしており，船体構造設計ならびに船舶構造工学に関して重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。